

第一回中国国際輸入博覧会が2018年11月に上海で開催

洲澤 輝

2018年11月5日～10日の計6日間、第1回目となる中国国際輸入博覧会が上海市で開催されます。この博覧会は2017年5月に習近平中国国家主席が「一帯一路」国際協力サミットフォーラムにて開催を発表しました。中国政府が世界へ向けた積極的な市場開放を主導する一大イベントです。

(博覧会の概要は次の表参照)

＜出展状況＞

同博覧会は、世界各国との経済交流・協力の強化、世界の貿易と経済成長を促し、開放型の世界経済発展を促進するという目的で大いに注目されており、運営機関である中国国際輸入博覧局の統計によると、すでに米誌フォーチュンが毎年発表している世界トップ企業500社にランクインする約100社を含む、約120ヶ国・地域の企業1,000社以上が出展を申請

しているそうです。

＜日本の対応＞

日本では、日本貿易振興機構（ジェトロ）が日本側のコンベンション推進組織として関連業務を展開し、すでに1万平方メートルの出展面積を日本企業と関連団体のブースとして使用する計画であることを申請しており、今後出展募集が開始される予定です。出展企業の商品は必ず日本国内で製造された Made in JAPAN の商品に限り、他国の工場で製造した商品を出品することは出来ませんが、本博覧会は、県内企業にとっても中国の巨大市場に参入できる大きな第一歩となるのではないのでしょうか。また、出展ではなく視察として参加するだけでも中国経済の勢いを感じ取る事が出来ると思います。

【中国国際輸入博覧会の概要】

展示会名	第一回 中国国際輸入博覧会
会 期	2018年11月5日（月）～10日（土）
開催場所	国家エキシビション・コンベンションセンター（上海市）
主 催	中華人民共和国商務部、上海市人民政府
出 展 エ リア	貨物貿易部門 総面積：約18万平方メートル 展示分野：AI、IoT、工業ロボット、材料加工、産業部品、自動車関連、デジタル化工場、その他生活と密接な関係があるアパレル、日用消費品、食品・農産品、医療機器 等
	サービス貿易部門 総面積：約3万平方メートル 展示エリア：観光サービス、省エネ・環境保護、文化・教育、イノベーションデザイン、アウトソーシング 等
併設イベント	当博覧会開催中に虹橋国際貿易フォーラムや、各種セミナー、新商品の発表など副次的なイベントも多数開催されます。